

訪問教育学級の教育活動について

1 訪問教育について

- 「やまびこ医療福祉センター」に入所していて通学が難しい児童生徒について、教師が「やまびこ」に出向いて行う。

2 授業について

(1) 授業時数等

- ア 1単位時間を40分とし、35週以上にわたって行う。
- イ 毎日学習をする。週6単位時間で設定する。(週3日は1単位時間、週2日は1.5単位時間)ただし、児童生徒の実態に応じて、弾力的に取り扱う。
- ウ 児童生徒の健康状態や病棟・病室の状況、学習内容に応じて、学習活動の時間帯を弾力的に編成し、授業を行う。

(2) 指導体制

- ア 主に担任が指導するが、合同学習など内容によっては担当者全員で授業を行う。
- イ 自立活動専任と一緒に授業を行う時間も設定する。

(3) 学習形態

- ア 主に個別指導。
- イ 児童生徒の健康状態や病棟・病室の状況、学習内容に応じて、チームティーチング、合同学習の形態をとる。

(4) 学習場所

- ア 2階学習室
- イ 3階エレベーターホール
- ウ やまびこの敷地内(廊下や中庭)
→ やまびこの担当医師や看護師の許可・判断の下、児童生徒の健康状態や病棟・病室の状況等に応じて判断する。

(5) 学習内容

- 自立活動を主とした学習内容。
例：音楽的活動、制作活動、感覚遊び、絵本の読み聞かせ等医療に配慮し、実態に応じた教材教具を使って行う。



音楽的活動



制作活動



感覚遊び

(6) 学校行事への参加

- 主な学校行事予定は、通学生と同じ。

行事等	場所	参加の有無等
始業式，終業式，修了式	病棟内	・ 全員参加
入学式，卒業式	本校体育館 病棟内	・ 対象の児童生徒のみ参加 ・ 主治医の判断により場所を決定
運動会，学習発表会	本校体育館	・ 主治医の判断により，許可の出た児童生徒は，スクーリングで参加
遠足，他校との交流学习 修学旅行，校外学習 集会活動，災害訓練		・ 実施無し

(7) 指導に当たって

- ア やまびこスタッフとの連携を密にし指導に当たる。
- ・ 授業の前は，児童生徒の体調や生活に関する情報交換を必ず行う。
 - ・ 授業前の情報を元に，学習内容，活動のレベル等，弾力的に編成し授業を行う。
 - ・ 授業終了後は，スタッフに学習時間の体調や+学習の様子等の報告を必ず行う。
- イ 感染症に十分注意して指導に当たる。
- ・ 手洗いうがいを励行する。
 - ・ 教材教具の消毒を徹底する。
 - ・ 教師が体調不良やコロナやインフルエンザ感染者等との濃厚接触があった場合は，授業には入らず他の教師が行う。



終業式（病棟内）



運動会（学校）

3 スクーリングについて

(1) ねらい等

- ア 通常の授業のほかに，本校へ登校して行う学習である。
- イ 集団での学習を行い，病棟とは違う場や集団の雰囲気を感じ取るとともに，人や物との関わりをより豊かにすることによって生活体験を広げ，社会性を養うことをねらいとする。

(2) 時数等

- ア 週4単位時間の範囲内で，健康状態に合わせて実施する。
- イ 実施期間は，感染症への配慮から，原則10月末までとする。

(3) 指導体制

- 担任と病棟看護師（状況に応じて、訪問担当者1～2人同行可）

(4) 実施場所

- 本校

(5) 学習内容

- ア 学校行事への参加
- イ 校内散策

(6) その他

- ア 病棟看護師の同伴を原則とする。
- イ 主治医，保護者，学校が十分共通理解を図った上で慎重に段階的に計画し実施する。
- ウ 計画の段階で実施可能かどうか，主治医の許可を得る。
- エ 当日の対象児童生徒の体調や病棟及び学校の感染状態を受けて，主治医の当日実施の許可を得て実施する。



学校行事への参加
(学習発表会)